

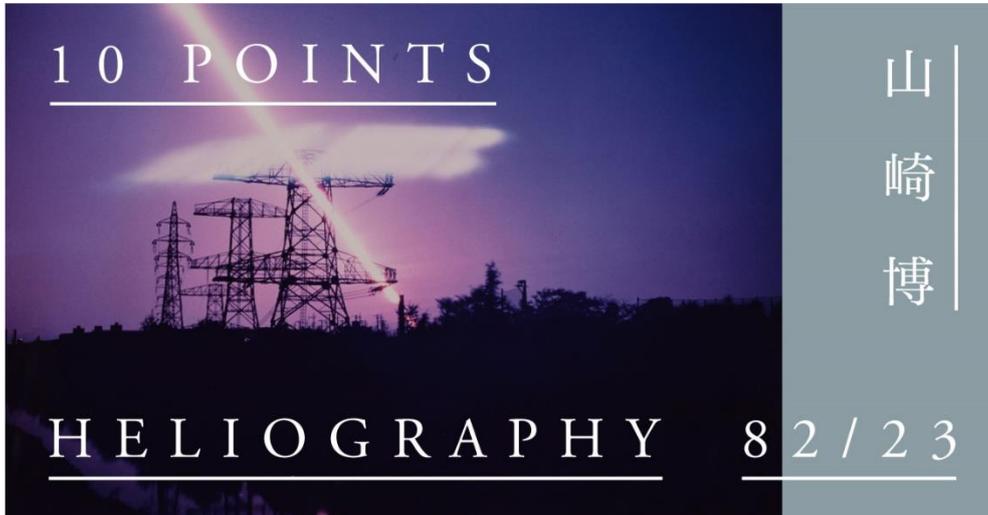
2023年9月5日(火)

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

光の軌跡、40年の時を越えて輝く
山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』
開催決定のお知らせ

10月21日(土):特別上映会も開催

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY (東京都中央区) は、2023年10月7日(土)～29日(日)の22日間にわたり東京駅東側エリア(「東京スクエアガーデン」、「東京ミッドタウン八重洲」、「国立映画アーカイブ」他)で開催される、屋外型国際写真祭『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』にて、山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』の開催が2023年9月5日(火)に決定しました事をお知らせします。



山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』告知用バナー

◆山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』

|開催概要

企画名：山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』

内容：写真家・映像作家の山崎博が1982年に撮影・発表した写真作品。2日間にわたり都内10カ所で同時に太陽を長時間露光した作品で、当時の個展および『アサヒカメラ』誌上で発表後、37年もの間忘れ去られていた幻の大作である。“光学的事件”を追求した作家の到達点であり、その鮮烈な視覚体験は発表後40年を超えた今日でも色あせることがない。

会期：10月3日(火)～10月29日(日) 11:00～18:30 (月曜日休館)

*10月27日(金)は20:00まで

会場：国立映画アーカイブ 1階ロビー（東京都中央区京橋 3-7-6）

アクセス：東京メトロ銀座線京橋駅出口1から昭和通り方向へ徒歩1分、都営地下鉄浅草線宝町駅出口A4から中央通り方向へ徒歩1分、東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅出口7より徒歩5分、JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

<https://www.nfaj.go.jp/visit/access/>

入場料：無料

出展作家：山崎 博

キュレーター：石田 哲朗（東京都写真美術館 学芸員）

共催：国立映画アーカイブ、一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY



山崎博 〈10 POINTS HELIOGRAPHY〉より（1982年）

◆特別上映会：山崎博作品集＋《山崎博の海》上映&トーク

企画名：『特別上映会：山崎博作品集＋《山崎博の海》上映&トーク』

日時：10月21日（土）14:15～16:05(予定)

会場：国立映画アーカイブ B1階 小ホール（定員151名、全席指定席）

チケット料金：一般1,500円 / 高校生・大学生・65歳以上1,000円 / 小中学生500円 / 障害者手帳をお持ちの方（付添者は原則1名まで）・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ・優待500円

上映作品：山崎博映像作品：《HELIOGRAPHY》（1979）、《観測概念》（1975）、
《VISION TAKE 1》（1973）、《MOTION》（1980）

萩原朔美氏映像作品：私映画《山崎博の海》デジタル（2018）

トーク登壇者：萩原 朔美、石田 哲朗

共催：国立映画アーカイブ

協力：東京都写真美術館

*本イベントは有料です。上映開始後、途中入場やトークのみのご参加はできません。

*チケットの購入方法等の詳細は、「国立映画アーカイブ」の公式HPをご参照ください。<https://www.nfaj.go.jp/>

| 出展作家／キュレーターのご紹介

— 写真家 —

山崎 博(やまざき ひろし) (1946-2017)



長野県生まれ。66年、日本大学芸術学部在学中に寺山修司の劇団「天井桟敷」に関わり、それをきっかけに当時の前衛芸術の現場を撮影。78年から79年にかけて「太陽が描く画」を構想した代表作〈HELIOGRAPHY〉(写真および映画作品)を制作した。83年には同名の写真集を刊行して、第33回日本写真協会新人賞を受賞。〈水平線採集〉(81-94)、〈櫻花図〉(2001)など、方法や条件を限定したミニマルな作風によって知られ、現代のコンセプチュアルな写真表現の先駆けとされる。2017年に東京都写真美術館で個展「計画と偶然」を開催した。

— キュレーター —



石田 哲朗(いしだ てつろう)

1968年大阪生まれ。1995-2002年東京都現代美術館勤務。2003年から現職。教育普及プログラムと展覧会企画を手掛ける。主な展覧会は「川内倫子 照度 あめつち 影を見る」(2012年)、「山崎博 計画と偶然」(2017年)、「あしたのひかり」(2020年)、「野口里佳 不思議な力」(2022年)ほか。

◆「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023」開催概要

名称：『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』

会期：2023年10月7日(土)～29日(日)

会場：東京駅東側エリア(八重洲・日本橋・京橋)

東京スクエアガーデン、東京ミッドタウン八重洲、JR東京駅(八重洲中央口改札外 グランスタ八重洲)、大丸東京店、国立映画アーカイブ、TODA BUILDING 工事仮囲、東京建物八重洲ビル、東京建物日本橋ビル、東京建物八重洲仲通ビル、BAG-Brillia Art Gallery- + 2、art space kimura ASK?、72Gallery 他

入場：無料

主催：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

主管：株式会社シー・エム・エス

企画：T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 実行委員会

特別協賛：TOKYO SQUARE GARDEN、東京ミッドタウン八重洲、東京建物株式会社、戸田建設株式会社

協賛：一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会、中央日本土地建物株式会社、大丸東京店

協力：国立映画アーカイブ、東京地下鉄株式会社、株式会社 POD、株式会社フラットラボ、公益財団法人彫刻の森芸術文化財団、株式会社クオラス、株式会社写真弘社

後援：京橋一の部連合町会、京橋三丁目町会

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

公式サイト：<https://t3photo.tokyo/>

※協賛企業社名は現時点の情報です。更新される可能性があります。

◆ T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO とは？

2017年の開始から今回で5回目を迎える「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO」は、世界的にも珍しい大都市の中心で開催される「屋外型国際写真祭」です。メインの舞台となるのは東京の【八重洲・日本橋・京橋】。中でも八重洲・京橋は、東京駅や銀座、日本橋に挟まれた絶好の立地にも関わらず、多くの人にとってオフィス街のイメージがあります。しかし、その歴史を紐解くと、江戸時代には城下町として文化が栄え、明治、大正、昭和と多くの文化人が足しげく通ったエリア。現在も江戸時代から続く老舗や、150以上の古美術商や画廊が存在するなど、都内有数のアートの集積地として高いポテンシャルを秘めています。世界水準のアーティストたちによる作品展示やパブリックプログラム、さらには、日本国内14の美大・専門学校と協力し開催する「STUDENT PROJECT」を通じて、同エリアが「次世代の写真文化を育むアジアのハブ」となることを目指し開催しています。



『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO』公式ロゴ

◆一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY(T.I.P.)について

| 写真の未来を語り、交流する場所の創造

一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY (T.I.P.) は、(1) 教育事業、(2) アーティストインレジデンス (AIR) 事業、(3) 地域文化事業という3つの事業を柱に活動を行う一般社団法人です。写真展示ギャラリーや、会員向けライブラリー、撮影スタジオなどの設備を持ち、写真文化と地域への貢献をミッションに活動をしています。

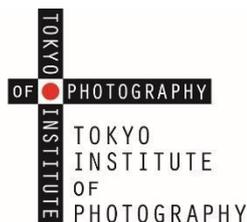
会社名：一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

創業：2010年08月

所在地：東京都中央区京橋3-6-6 エクスアートビル1F

電話番号：03-5524-6994

HP：<https://tip.or.jp/abouttip>



【本件に関するお問い合わせ（掲載・露出不可）】

本フェスティバルのディレクターであり創設者である速水惟広や、展示キュレーター（後日発表）への「インタビュー」、開催会場での「撮影取材」についても調整可能です。是非、お気軽にお問い合わせください。

画像素材⇒

https://drive.google.com/drive/folders/1FYuVhb4r3Hdsjz6DZfYkwZ_6W6Xh0g?usp=drive_link

[1] 広報全般のお問い合わせ

担当：株式会社ロールアップ 岩田（いわた）

MAIL： iwata@rollup.day / MOBILE：070-9027-2815 /

[2] 展示企画、キュレーター等への取材はこちら

担当：株式会社シーエムエス 堤谷（つつみに）

TEL：03-5524-6991 / FAX：03-5524-6992 / MAIL： hana.tsutsumitani@cmsinc.jp
